

やまぐち未来創発塾の教育プログラムに関するQ&A

2021/12/21 キャリアパスデザイン推進室

Q1：知的財産センターが主催するセミナー・講演会もポイント制度の対象となるとのことでしたが、予定を教えてください。

A1：知的財産センターのホームページ <https://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/chizai/> のイベント情報に掲載される、次のセミナーです。

1) 著作権コース（オンライン）2022/1/25（火）16:10～17:40

申し込みのページ <https://kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/chizai/?p=5337>

申し込み締切 1月24日

2) 応用コース（オンライン）2022/2/22（火）16:10～17:40

いずれも誰でも参加可能・無料ですが、事前の申し込みが必要です。

Q2：ポイントとしてカウント可能なセミナーの区別がいまいちわからないので教えてください。

A2：説明会資料（11月25、26日）の18ページに「各種セミナーの受講（ポイント制）について」次のように説明しています。

1. 本塾、HIRAKU-Global、所属する研究科などが開催するセミナー（本人以外の博士公聴会聴講もカウント可）などを積極的に受講し、学際性、国際性や幅広く高度なトランスファラブルスキルの養成に務めること。セミナーに参加した場合は、記録（受講日時、セミナー内容の概要（400文字程度（日本語の場合）、250word(英語の場合)）等）を残し、事業統括に対して各年度末に提出・確認を受けること。（提出形式は別途指示）

従って、「学際性、国際性や幅広く高度なトランスファラブルスキルの養成」の涵養につながるものがポイントとしてカウント可能と考えて下さい。特に、「学際性」についてはセミナーの内容と塾生の研究テーマの関係を塾の方で把握できないことがあります。塾生の判断で受講し、記録を早めに提出してポイントとしてカウントされるかどうかの確認を得て下さい。

なお、この報告では、セミナーの概要に加えて、「学際性、国際性や幅広く高度なトランスファラブルスキルの養成」にどのように役だったのかを記入しておいて下さい。

Q3：具体的に、同一研究科・専攻で他の研究室が主催するセミナーに参加することもポイントにカウントされるのでしょうか？

A3：「研究力」を高めるという意味では、「本人以外の博士公聴会聴講もカウント可」としており、一般的には可能です。しかし、異分野融合研究の発想・駆動力を涵養することを目的に他分野の内容を積極的に受講するようにしてください。

Q4：セミナー等に参加したときの報告書はどこに提出するのでしょうか。

A4：moodle にログインし、その他のコースから「やまぐち未来創発塾(異分野・・・)」を開くと課題提出ボックスが用意されています。

Q5：キャリアデザインⅡを受講していない22年3月修了予定者です。「別途指示するレポート」はどうすればよいのですか。

A5：対象者3名の方はmoodle にログインして、マイコースから「キャリアデザイン（やまぐち未来創発塾2021）」を開いて、講義の動画を閲覧し、報告書を出して下さい。